

## 【別冊資料】

令和6年度孤独・孤立対策担い手育成支援事業交付金  
事業実施報告書

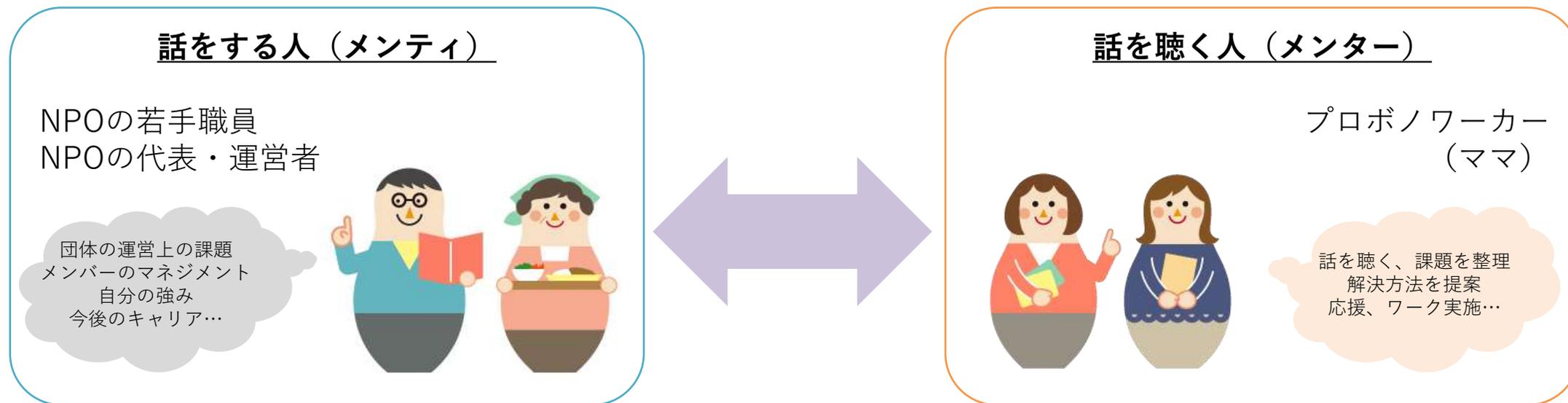
# NPOメンタリングプログラム

認定NPO法人サービスグラント

# 1. 事業実施の概要

# NPOメンタリングプログラムとは

団体を応援する気持ちを持ちながら話を聴いてくれる「メンター」がいることで、NPOの運営者や職員の困りごとや悩みごとを整理し前に進むお手伝いをするプロボノプログラムです。



# NPO：ニーズとメンタリングプログラムでのゴールイメージ

## ニーズ

### NPOの若手職員

- 同じような立場や少し上の立場の職員がない
- 内部スタッフの悩みを話しづらい
- キャリアについて考える機会がない

### NPO代表者・運営者

- 第三者的な立場の壁打ち相手が欲しい
- 単発の課題整理というよりは少し長いスパンで話を聴いてほしい
- プロボノで課題解決にはつながったが、他にも解決すべき課題が累積している



## ゴールイメージ

### NPOの若手職員

- 組織外の少し先輩社会人と話をして参考になった！
- 悩みについて具体的に何をしたら良いか相談ができた！
- 今後のキャリアについて考えることができた！

### NPO代表者・運営者

- アクションプランの検討を振り返りを行うことで、活動が前進した！
- 壁打ちをしてもらうことで、長年取り組めなかった課題に対して、アクションに移すことができた！

# ママ：ニーズとメンタリングプログラムでのゴールイメージ

## ニーズ

### ママたち

(復職済・駐在帯同中・育休中・離職中)

- 社会貢献に関心はあるが、時間がないのでプロボノ参加を躊躇してしまう
- 同じようなワーママとのつながりや活動に関心がある
- コーチングなどの資格を取ったものの活用機会がない
- 特に資格はないが、「聴く」ことで力になれるなら参加したい

## ゴールイメージ

### ママたち

(復職済・駐在帯同中・育休中・離職中)

- 月に2-3時間という無理なく社会貢献に参加できた！
- 他のメンターチームとやり取りの中で自分自身のキャリアについても考えることができた！
- 取得したコーチングを社会貢献に生かすことができた！
- 特別なスキルがなく自信がなかったが、貢献できた実感がある！



# NPOメンタリングプログラム 支援先団体

団体名	団体活動概要	対象者	メンタリングテーマ
認定NPO法人居場所サポートクラブロベ 茨城県つくば市/ <a href="#">ウェブ</a>	主に子どもの居場所としてに、学童クラブや学習支援無料塾、障がい者のグループホーム、放課後デイサービス、子ども食堂などを運営	パートスタッフ	団体内でのコミュニケーション、ワークライフバランスを保ちながらの業務へのモチベーションアップ
一般社団法人 We are Buddies 東京都渋谷区/ <a href="#">ウェブ</a>	5～18歳の子どもと大人ボランティアがペア（バディ）となり、親でも教師でもないフラットな関係を作りともに過ごすことで、子どもの心の居場所を作るプログラムを運営	①代表 ②市原市担当	①団体の次のステップや企業連携に関する壁打ち ②千葉県市原市でのプログラム拡大に向けた課題整理やアイデア出し
NPO法人FC岸和田 大阪府岸和田市/ <a href="#">ウェブ</a>	大人から子どもまで広く地域住民がつながる機会として、楽しんで参加できるようなスポーツ教室や大会を提供	代表	業務フローの改善についての課題整理や壁打ち
NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター 長野県下伊那郡/ <a href="#">ウェブ</a>	青少年が協力しあいながら自ら考えて自信を持って行動できる「心の豊かさ」や「生きる力」を育むための、日本の自然環境を活用した山村留学や放課後の居場所等を運営	スタッフ 2名 ①、②	①自身の強みや今まで身についてスキルの言語化 ②ステークホルダーへの広報や関係づくりの壁打ち
NPO法人サンカクシャ 東京都豊島区/ <a href="#">ウェブ</a>	支援につながりにくく孤立した子ども・若者とつながり、関係を深め、多様な機会や人とつなげることを通じて社会参画をサポート	スタッフ 4名 ①、②、③、④	①企業連携の壁打ちや仕事のバランスの指針の明確化 ②チームマネジメントについての振り返りと壁打ちや仕事のバランス ③仕事の進め方の整理や自分の強み明確化で自信につなげる ④ファンドレイジングに関する壁打ちと仕事のバランス

# NPOメンタリングプログラム 支援先団体

団体名	団体活動概要	対象者	メンタリングテーマ
KTRUCK 広島県尾道市/ <a href="#">ウェブ</a>	地域や人とつながりながら地域を作る力を育てるために、自然保育団体、オルタナティブスクール、若者の居場所事業、市民活動のサポート等を実施	代表	今までの活動の振り返りと、ビジョンや活動の軸の言語化のサポート
認定NPO法人まなびと 兵庫県神戸市/ <a href="#">ウェブ</a>	誰もが当たり前前に多様な人と関わりながら「学ぶ気持ち」を得られる社会を目指して、地域の学び場づくりや留学生の居場所づくりに取り組む	スタッフ	留学生シェアハウス担当。留学生対応や今後やるべき取り組みの壁打ち
南正雀まるっと。 大阪府吹田市/ <a href="#">ウェブ</a>	地域でつながるための多世代交流サロン、スマホ・健康・趣味の講座、介護予防体操、フードパントリー、マルシェなども開催	代表	団体や代表自身の課題について、現状の整理と考える時間を持つ
NPO法人両育わーるど 東京都渋谷区/ <a href="#">ウェブ</a>	障害や難病を越え、誰もが望むように生きられる社会を実現することを目的とし、制度の狭間で孤立している難病者の社会参加を身近に事業等に取り組む	スタッフ	チームマネジメントについての振り返りと壁打ち
【グループメンタリング】 せせらぎファンイン冒険遊び場 東京都渋谷区/ <a href="#">ウェブ</a>	子どもたちが安心して誰とでも打ち解けて遊べる場を作るために、冒険遊び場を運営。活動開始から20年を経過	運営者4名 (グループメンタリング)	20年の節目に改めて世話人同士の気持ちを共有し、団体としての目的や目標を確認したい

## 本事業におけるNPOメンタリングプログラムの課題と施策

- ① メンター側の養成まで行えず、支援数が限られてしまう（現状のメンターは個人でコーチングの学びや仕事経験がある方）

**本事業での対策** ➡ 育成体制の確立（外部講師によるメンタリングスキル研修／NPO理解のための研修／実践練習の実施）

- ② スケジュール管理やメンタリングのフィードバックなどを手作業で行っており、運営が手間がかかり、支援数が数が限られてしまう

**本事業での対策** ➡ 運営面のオンラインシステムの導入

- ③ 被支援者（NPO等スタッフ）の人数が限定されるため、団体の組織的な課題解決までは至らない

**本事業での対策** ➡ 団体の運営課題解決の体制構築支援（組織内で複数人数を対象としてメンタリングを行い、組織へのフィードバックを実施。加えて、プロボノ支援につなげられる組織課題の相談窓口を用意する）

# ①メンター育成体制の確立：事前研修

コーチングやカウンセリングを学んだことがないプロボノワーカーでも、3か月間質の高いメンタリングが実施できるよう、メンターの事前研修を変更し、新たに育成体制を確立した

### ①事前研修

- 日程：10月10日(木)21:00-23:00（オンライン）
- 内容：NPOメンタリングプログラムについて、メンタリングスキルの研修、練習等
- 従前からの変更点：内部スタッフで行っていたものを、外部のプロの講師に依頼し、質の高いインプットを実施

### ②実践練習

- 日程：事前研修後1時間（オンライン）×1回
- 内容：メンタリング実施(15分)+3人で振り返り(10分)→メンターを交代し、メンタリング実施(15分)+3人で振り返り(10分)→キックオフの相談
- 参加者 メンターペア+サポーター（事務局またはメンタリング経験者）
- 従前からの変更点：あくまでも任意で、メンターペアのみに実施していたのを、必須としてサポーターが同席。関係性を深めるとともに、事前研修の振り返りの場となった

### ③参考動画の視聴（任意）

- 内容：ソーシャルセクターの基礎知識
- 従前からの変更点：従前は案内せず。基本的なNPOの知識のインプットができた。

# ①メンター育成体制の確立：サポーター制度

事務局やメンター経験者が各メンターペアの「サポーター」として担当することで、メンターが安心して参加できる体制を整えた。

### <開始前>

- 事前研修でのサポート
- 事前研修欠席者のフォロー（録画案内/Q&A）
- 実践練習のオブザーブ

### <メンタリング期間中>

- キックオフの同席（難しければ録画視聴）
- 実施状況、アンケート回答状況のチェック
- 質問への回答や困ったことへのアドバイス等
- GRANTにつながるニーズのチェック
- 情報交換会への同席

### <終了後>

- メンター振り返りでのコメント

#### 事務局サポーター



津田 詩織



櫻尾 直美



田中 綾香



栗原 彩乃

#### メンター経験者サポーター

ママボノ、NPOメンタリングプログラム参加経験があり、メンタリングやコーチング資格があるなど傾聴に長けている3名に協力いただいた

## ②運営体制（運営システム）の整備

今まで手動やメール等のツールを使って行ってきた、日程調整、メンタリングのフィードバック（月に1回実施）をオンラインシステム化を行うことで、いつでも全チームの実施状況を確認することができるようになり、セッション中で何らかのトラブルがあった場合もタイムリーにフォローできる運営が可能となった。

メンタリング実施のために、プロボノ募集サイト(G R A N T)のプロボノプロジェクト推進システムの改修をした内容

### プロボノ募集機能

- メンタリングの募集フォーマット、募集内容を追加
- メンターを募集するNPOのスタッフの情報入力画面を追加
- メンティ個人とメンターのやり取りが見えないようにするサブアカウント機能を追加

### プロジェクト運営機能

- メンタリングのスケジュール入力画面を追加
- セッション毎に実施できるセルフチェック（都度アンケート）機能を追加
- セルフチェックが表示されるよう管理ページを改修

# ②運営体制（運営システム）の整備：改修後イメージ

## プロボノ募集機能



メンタリングの募集フォーマット、  
募集内容を追加



メンターを募集する  
NPOのスタッフの  
情報入力画面を追加



## プロジェクト運営機能



メンタリングの  
スケジュール入力  
画面を追加



セッション毎に実施できる  
セルフチェック（都度アンケート）  
機能を追加



セルフチェックが  
表示されるよう  
管理ページを改修

### ③団体の運営課題解決の体制構築支援

昨年度まではメンタリングを代表やスタッフ個人の課題解決がメインだったが、本年度は組織全体の課題解決につなげるべく、以下の対応を行いました。

1. メンタリングで顕在化した具体的な組織課題について、プロボノ募集プラットフォーム「GRANT」へ連携する (<https://grant.community/>)
2. 組織内で複数人数を対象としてメンタリングを行い、その組織に対してレポート等をフィードバックし、組織内のコミュニケーションのヒントとしていただく

#### 実施結果

1. プロボノ募集プラットフォーム「GRANT (<https://grant.community/>)」への連携
  - GRANTの活用について、事前・中間・終了時に案内を行い、10団体15組の内、アンケートの結果9団体よりプロボノのニーズが上がったことにより、組織上の課題が明確になった。各団体へはGRANT活用の案内を行った。今後、継続フォローし、プロボノプロジェクトの登録及びプロボノワーカーの募集につなげる（9団体中6団体はプロジェクト登録を前向きに検討中）。
2. 組織内で複数人数を対象としてメンタリングを行い、その組織に対してレポート等をフィードバックし、組織内のコミュニケーションのヒントとしていただく
  - 複数人が参加した団体2団体（グリーンウッド自然体験教育センター/サンカクシャ）へのアンケート結果共有し、情報提供を行いました。

## 2. 具体的な取組内容

# NPOメンタリングプログラム 実施概要

## 募集人数

**メンティ＝話をする人 18名(個人14名+グループ1組4名)**

- NPOのスタッフ・NPOの代表・運営者など
- 一部複数人を対象としたグループメンタリング

**メンター＝話を聴く人 (2名ペア制) 30名**

- プロボノワーカー (復職済・駐在帯同中・育休中・離職中のママたち)  
※2名ペア制の理由：様々な視点／相互協力／お互いの学び

**サポーター＝事務局or過去メンター参加者 7名**

**実施方法：**オンライン (Zoom)

**実施期間：**メンタリング期間 11月～1月 (3ヶ月／月に2回実施を推奨)

※11月の初回はキックオフ (1時間推奨)

※以降は、40分推奨

※実施日程は双方で調整

# 支援先団体募集、オリエンテーション実施

## 【団体募集に向けた広報】

- 本プログラムの対象となるサービスグラント登録団体に個別メール
- 説明会、および個別相談を実施

## 【オンライン説明会開催】

日時: 9月5日(木)11:00～12:00 / 9月11日(水)10:00～11:00

その他、個別相談も実施

## 【募集概要】

対象: 孤独・孤立対策の居場所づくり等を行う団体

募集: 5団体程度（1団体3名まで、4名以上は相談）

参加費：無料

応募: 8月末頃まで

## 【オリエンテーション】

申込団体に対して、個別にオリエンテーションを実施し、プログラム内容への疑問点や不安の解消をしていただいた。あわせてヒアリングを行い、メンタリングを受ける本人の課題などを確認し、メンタリングテーマとすべき点を確認した。

# メンター募集・事前研修等

## 【参加者募集に向けた広報】

- ママボノホームページでの募集案内
- ママボノ<sup>(※)</sup>経験者宛メールやFacebookグループ投稿
- SNS投稿・および広告（Facebook、Instagram）

## 【オンラインイベント開催】

タイトル：「聴く力」を活かした社会貢献のポイント

日時: 9月18日（水）12:05-13:00（録画視聴可）

詳細: <https://mamabono20240918.peatix.com/>

申込人数：86名

## 【募集概要】

募集人数: 30名

（メンターペアは運営側で決定／経験や可能時間などを考慮してマッチング）

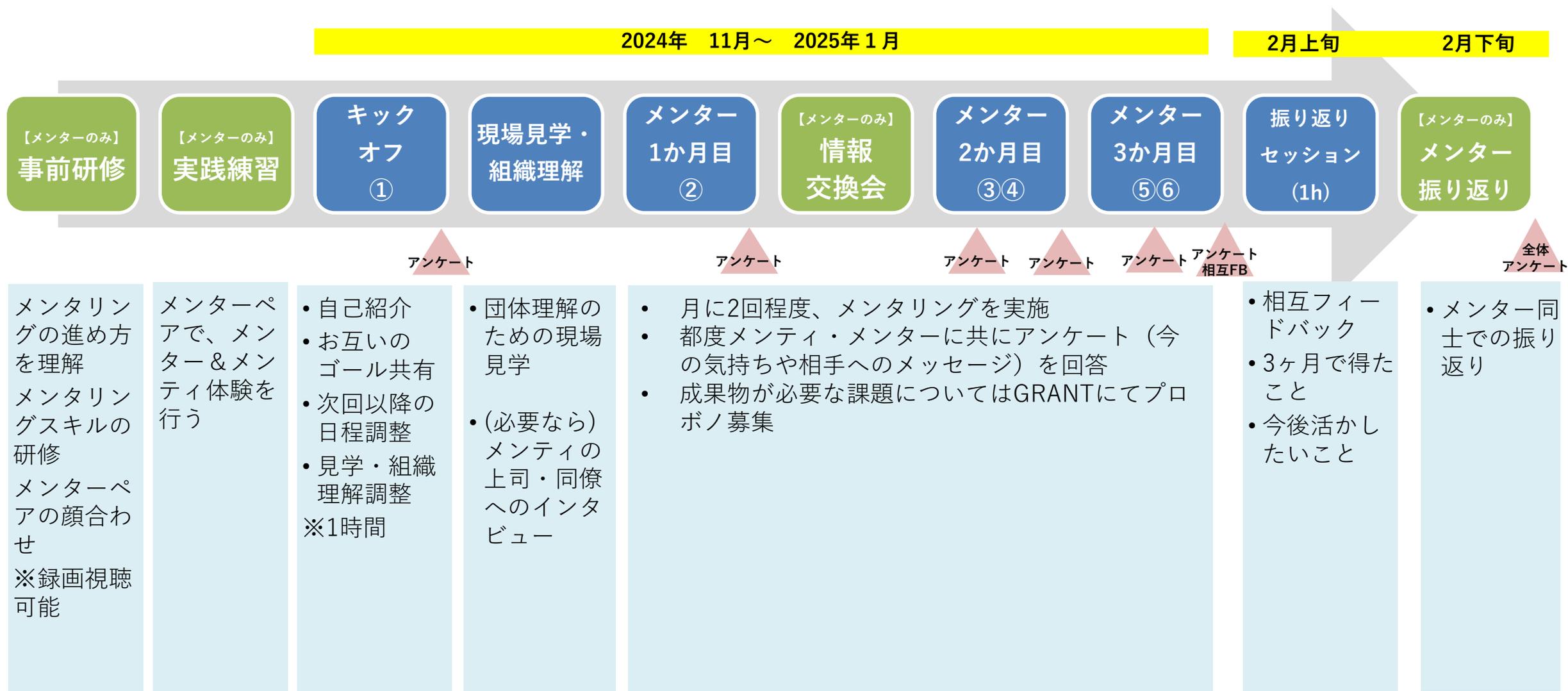
応募方法：オンラインフォーム

締切: 9月29日（日）

## 【事前研修等】（本別冊資料 p.9 参照）

※ママボノ：サービスグラントが2013年度から実施をする育休中などのママによるプロボノプログラム

# ①NPOメンタリングプログラム実施：実施の流れ



## ①NPOメンタリングプログラム実施：キックオフミーティング

メンタリングセッション開始に向けて、お互いを知り、支援先（メンティー）の参加動機やゴールを理解する場としてキックオフミーティングを各メンタリングチーム（メンター2名、メンティー、可能であればサポーター同席）で実施。

### ● 実施方法

- ✓ メンティと日程調整及び当日の進行はメンターが行う
- ✓ キックオフの進め方もメンターが工夫、検討
- ✓ サポーターはフォロー役として同席（難しければ、録画視聴）

### ● キックオフミーティングのゴール（1時間後の状態）

- ✓ お互いのことを理解する
- ✓ メンティが今後話していきたいテーマを理解する
- ✓ 今後の進め方（実施日程、方法、見学）を確認できている

### 先輩のメンターの工夫

- ニックネームで呼びあう
- 団体の理解のため、現地訪問をする
- お互い、自分の好きな風景を仮想背景にセッティングして、話のきっかけに



## ①NPOメンタリングプログラム実施：2回目以降のセッション

キックオフミーティングとあわせて、全6回を標準実施回数として、下記の構成を参考に実施。

1. オープニング（5分）
  - ・ チェックイン
  - ・ 今日話したいこと／セッション後に目指す状態
2. メンタリング（30分）
  - ・ 質問の投げかけ、傾聴、アドバイス等
3. クロージング（5分）
  - ・ 次回までのお互いの宿題
  - ・ 次回の日程の確認

### 先輩のメンターの工夫

- ・ 聴き役とまとめ役、盛り上げ役と整理役といった形に役割分担
- ・ 話を聞いたことをメモに残して提供する
- ・ メンタリングの感想をお互いにシェアする
- ・ 知っているワークを実施してみる
- ・ 他の方へその人に対するインタビューをして、フィードバック



## ①NPOメンタリングプログラム実施：支援先理解

支援先の理解を深めるために、機会があれば支援先団体の活動現場などを訪問し、見学を推奨（任意）

例

- ✓ 団体のオンラインイベントへの参加
- ✓ 活動現場に見学でお伺いする
- ✓ 定例のミーティングに参加させていただく
- ✓ 団体の上司や同僚にインタビューをさせていただく

## ①NPOメンタリングプログラム実施：シェア会（中間共有会）

他のメンターの工夫の共有、お困りごとの相談などを行ない、メンタリングに活かす場として、全メンターを参加対象としたシェア会を実施。

日 程 第1回：11月28日(木) 12:00～13:00

第2回：12月23日(月) 12:00～13:00

実施方法 オンライン（Zoom）

### 内 容

1. 工夫の共有、チームを超えての振り返り等
2. 中間アンケート結果の報告（第2回シェア会で報告）

メンター、メンティー向けに中間アンケートを実施し、その結果を報告することで、その後のセッションの参考としていただいた。

## ①NPOメンタリングプログラム実施：振り返りセッション

メンタリングプログラムを通じての気づきの整理や振り返りの場として、各メンターペアがメンティーとともに、全6回のメンタリングセッション終了後に、振り返りセッションを行った。

**日 程** 2月上旬～2月末で調整 (1時間程度)

**実施方法** オンライン (Zoom) メンティ及びメンターで実施 ※サポーターは同席なし

### 内 容 (例)

#### ①相互フィードバック (30分)

- メンティに対して「素敵だなと思った行動、魅力や強みだと思ったこと」をメンターから口頭でフィードバック
- メンティは、フィードバックの感想を述べる
- メンターに対して、「素敵だなと思った行動、魅力や強みだと思ったこと」をメンティ&もう一人のメンターから口頭でフィードバック
- メンターは、フィードバックの感想を述べる

#### ②振り返り

- どんな変化や気づき、学びがあったかについて述べあう (15分)

#### ③チェックアウト(10分)

- 全員で感想を述べあう

# ①NPOメンタリングプログラム実施：メンター振り返り会

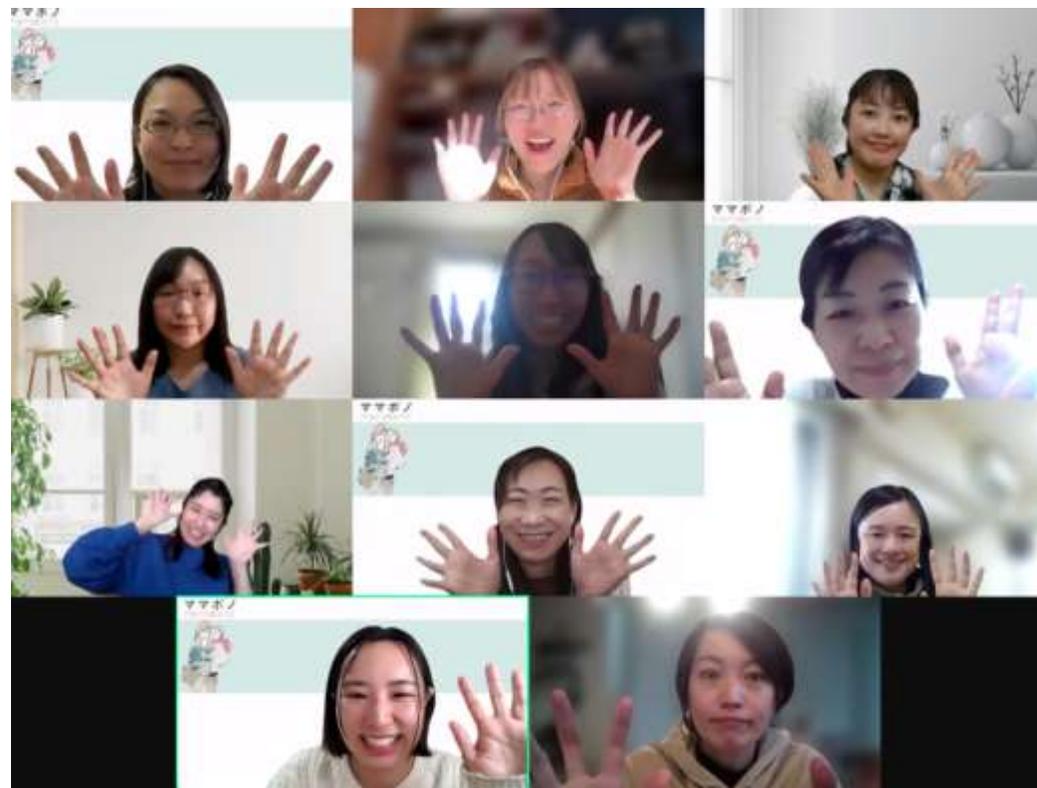
NPOメンタリングプログラムの参加を今後に活かせるよう、メンター自身の成果をそれぞれが確認する場としてメンターの振り返り会を実施

日 程 2月25日 (火)12:00～13:00

実施方法 オンライン (Zoom)

## 内 容

- 他のメンターペアの活動を共有
- メンター自身の学びや気づきの振り返り
- 今後はどう活かせるかを言語化



## ②アンケート実施

---

次章「3. 事業の目標に関する客観的な指標の達成状況及びその評価」参照

## ③総括イベントの実施

本事業の実施内容や成果を報告する場として、オンラインイベントを開催した。

### ■タイトル：

支援者を支えるメンタリングの力 ～孤独・孤立に向き合う支援者のための対話～

### ■開催概要

日程：3月6日(木) 12:00～13:00

実施方法：オンライン（Zoom）

内容：

- ・ プログラム概要紹介
- ・ 2024年度プログラム経験者トークセッション
- ・ スペシャルゲストトークセッション：ソーシャルセクターにおける相談相手の重要性、インパクト評価の結果、メンタリングプログラムの意義  
今井麻希子氏／一般社団法人日本NVC研究所代表理事、株式会社 yukikazet 代表

### ■募集方法

- ・ 行政関係者向けのダイレクトメールを自治体通信メール版で発信各行政の孤立孤独担当部署宛にチラシを郵送
- ・ PeatixやSNS（サービスグラントFacebook、ママボノFacebook、ママボノInstagram）、サービスグラントメールマガジンを通じた広告や情報発信

■申込者 124名



### イベントレポート：

前半（経験者トーク）

[https://mamabono.org/post\\_report/mentoring2025event\\_keikensha/](https://mamabono.org/post_report/mentoring2025event_keikensha/)

後半（スペシャルゲストトーク）

[https://mamabono.org/post\\_report/mentoring2025event\\_specialtalk/](https://mamabono.org/post_report/mentoring2025event_specialtalk/)

### 3. 事業の目標に関する客観的な指標の達成状況 及びその評価

## 孤独・孤立対策担い手育成支援事業交付金申請時目標と達成状況

### 【申請時目標と達成状況】

- NPO 5団体に対し合計15名へのメンタリング支援を実施。30名のメンターが参加。  
→ NPO 10団体に対し15名へのメンタリング支援を実施。30名のメンターが参加。
- NPOメンタリングプログラムの運営システムの構築を完了。  
→ 本別冊資料 p.11-12 参照
- 参加したNPO代表・スタッフ15名の内8割以上が、業務に対して前向きにとらえられるようになっている。  
→ 本別冊資料 p.30-34 参照
- その結果、150名の受益者に対して、孤立孤独の防止に対するポジティブな影響をもたらすことができる。（各団体平均30名の受益者に対応すると試算）  
→ 本別冊資料 p.33 参照

# インパクト評価の仮説：変化の構造

## 初期アウトカム

スタッフ・代表の心理面でのケアと課題解決が、  
受益者へのポジティブな対応につながる



モチベーションと  
安心感

受益者対応  
・組織への  
ポジティブな影響

業務上の  
課題の解決

## 中期アウトカム

活動の維持・継続  
・展開

離職率の低下  
(バーンアウトしない)

支援の新たな展開

## 長期アウトカム

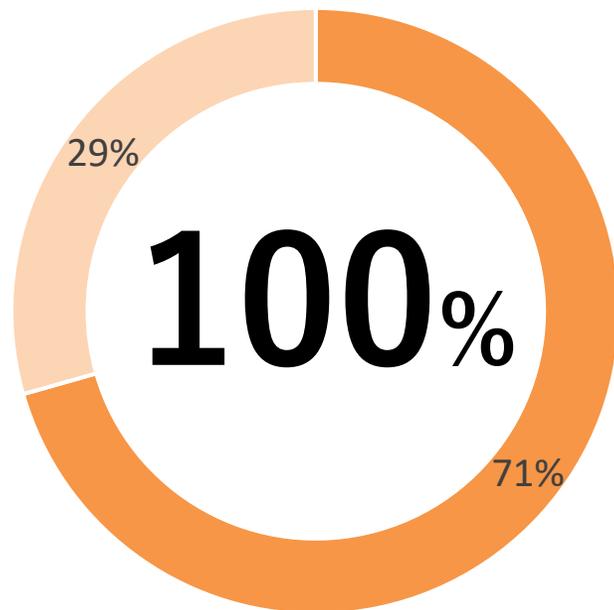
受益者が増える



必要とする人に  
支援が届く

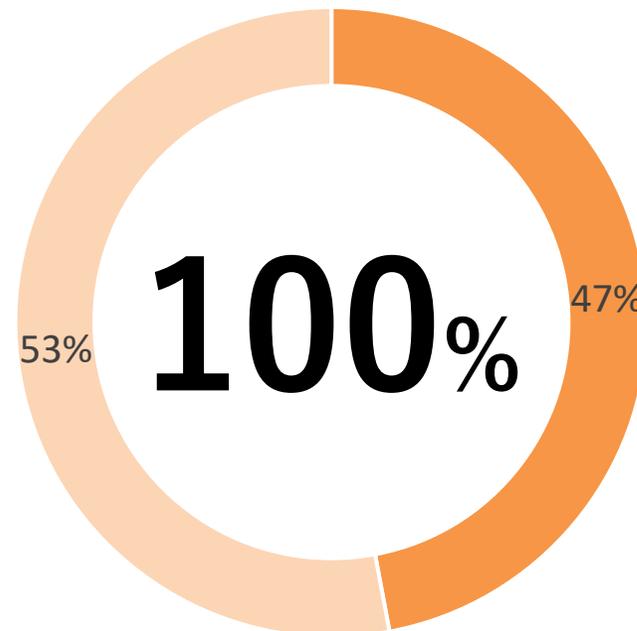
## 全体的な満足度：NPO

プログラムに参加して、全体として、よかったですと思いますか？



■ とてもよかった ■ よかった

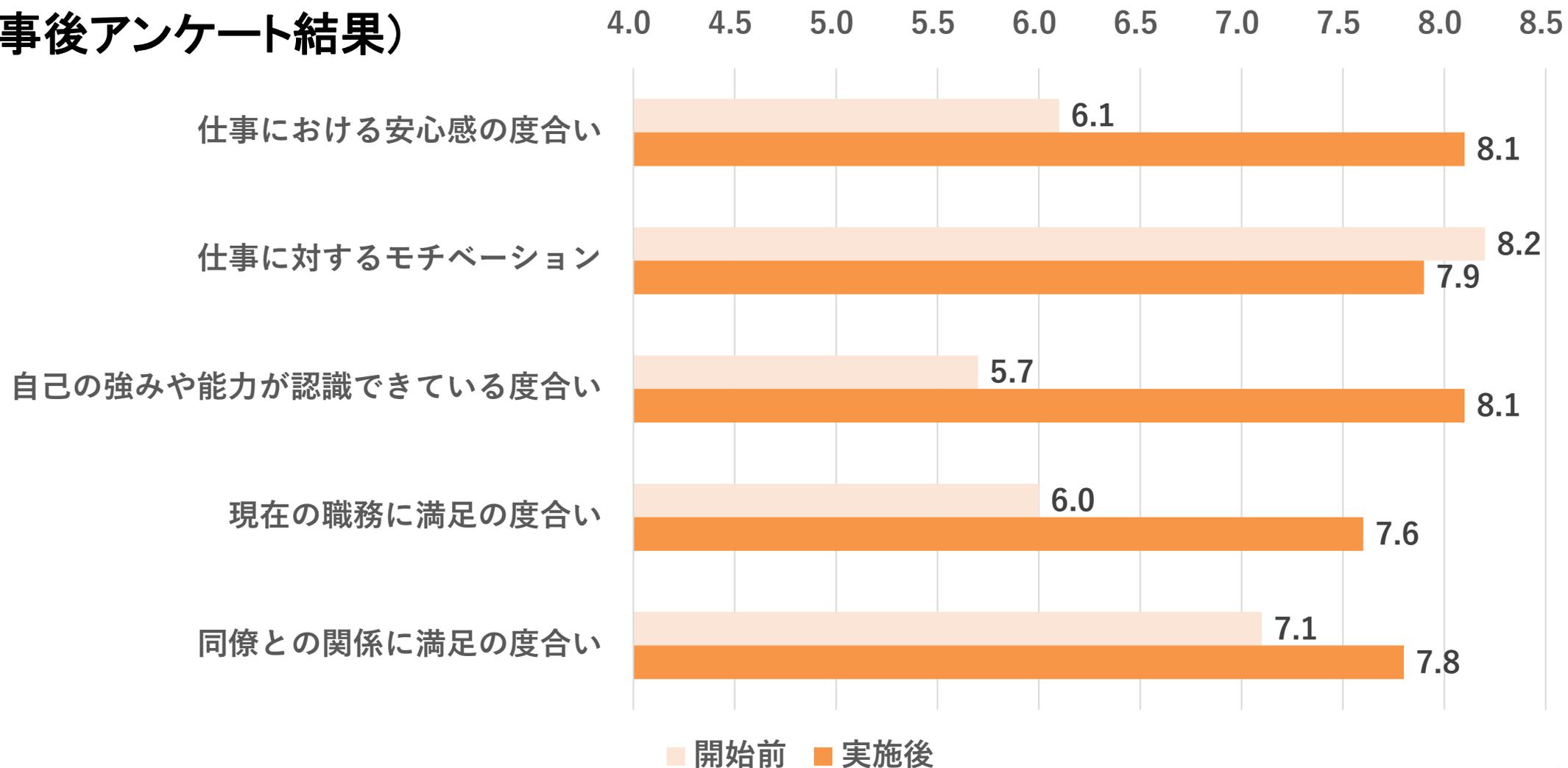
他の人や他団体に勧めたいと思いますか？



■ ぜひ勧める ■ 勧めたい

## 初期アウトカム：モチベーションと安心感（事前事後アンケート結果）

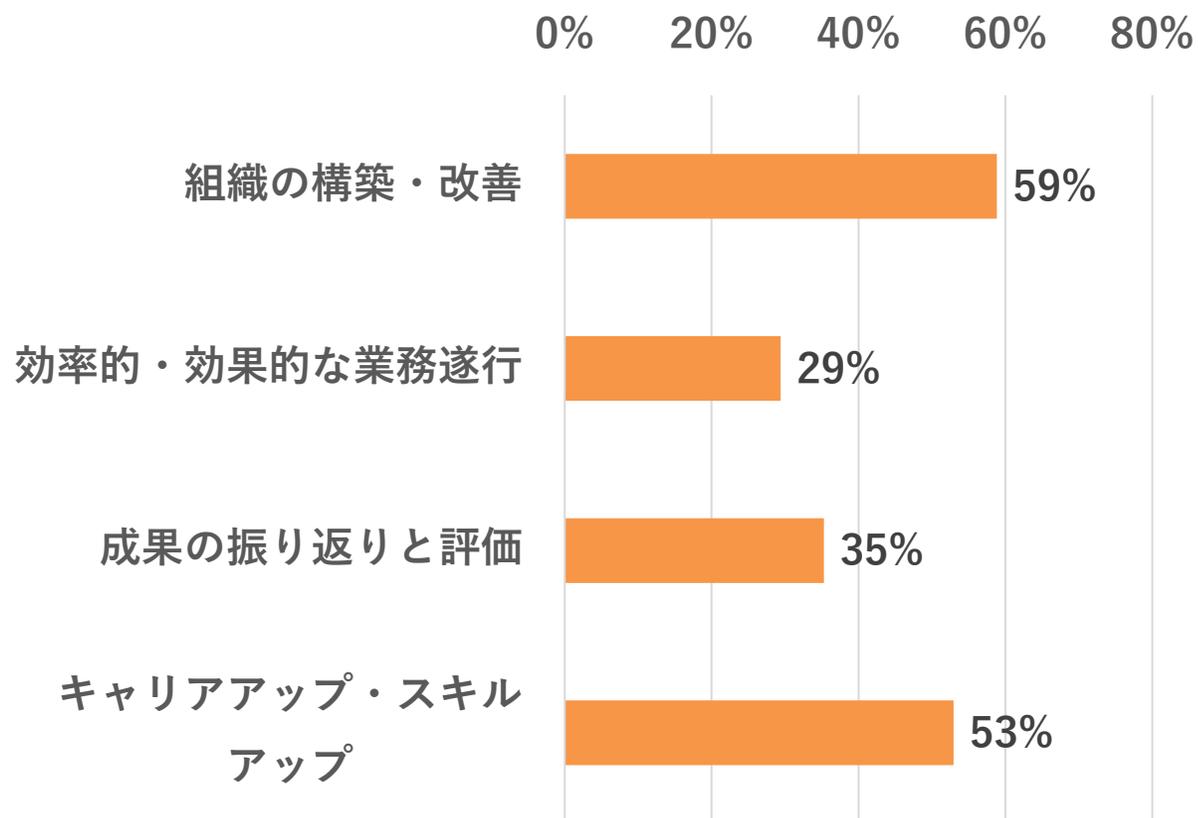
(事前事後アンケート結果)



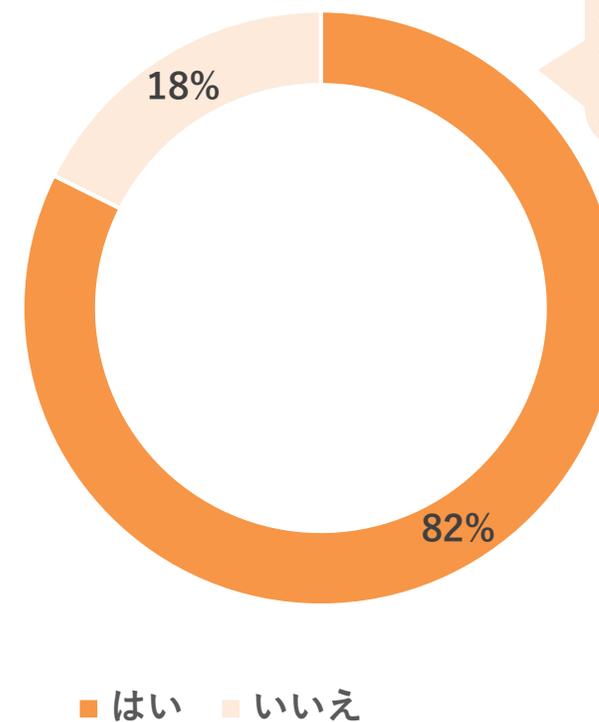
対象：2024年度プログラム参加者  
開始前n=13／実施後n=17

# 初期アウトカム：業務上の課題解決

メンタリングプログラムを通じて実現したこと  
・実現しそうなことを選択してください(複数選択可)



プログラムへの参加をきっかけに、  
具体的なアクションを起こしましたか？



- ・地域の企業のもとへイベントの協賛のお願いし、協賛を得た
- ・アワード申請を行った
- ・新しい事業の担当へのチャレンジを決めた
- ・企業や大学に連絡をした

対象：2024年度プログラム参加者  
n=17

# 初期アウトカム：受益者対応・組織へのポジティブな影響

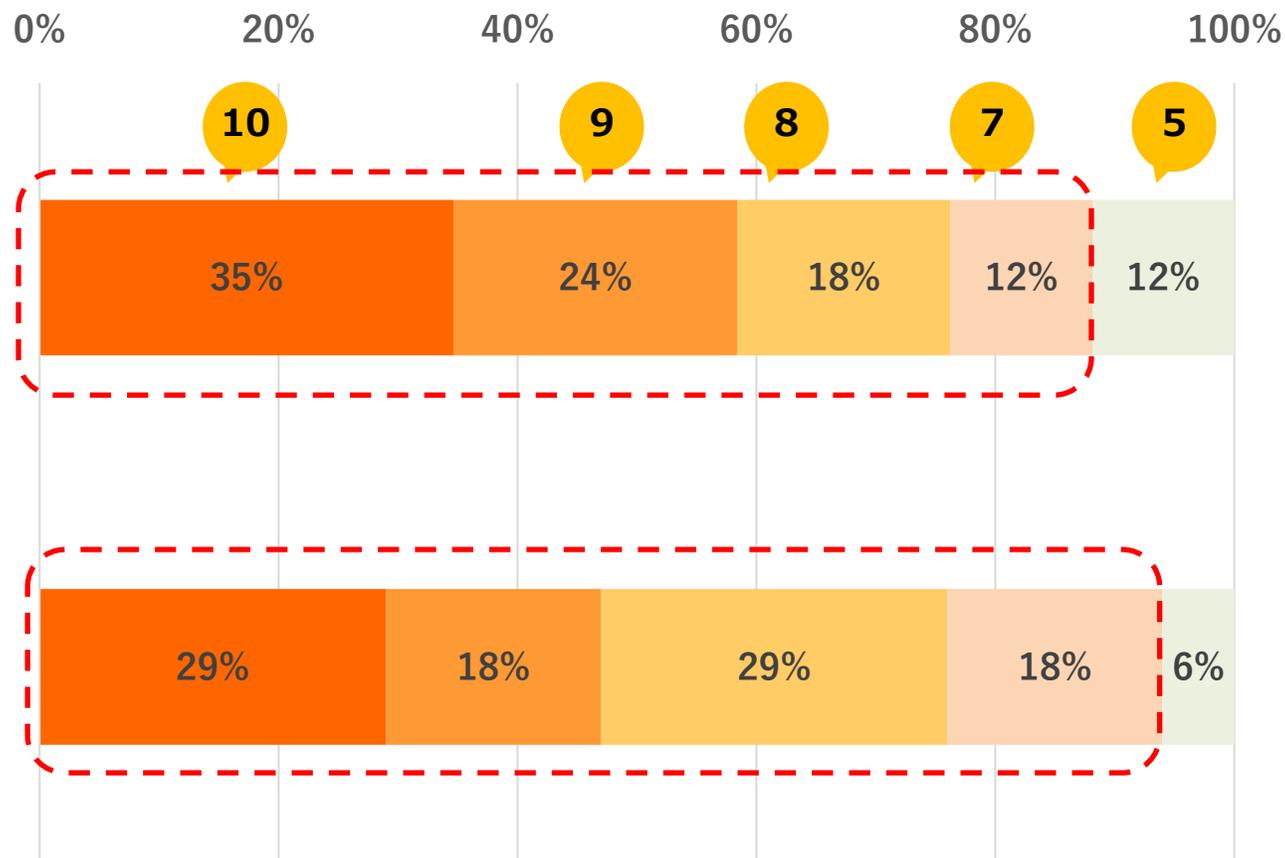
受益者対応にポジティブな影響を与えましたか？

ポジティブな影響を与えた受益者の数

4,892人

※受益者数を回答したプログラム参加者13名の記載人数を合算

今後のNPOの活動にどのような影響を与えそうでしょうか？

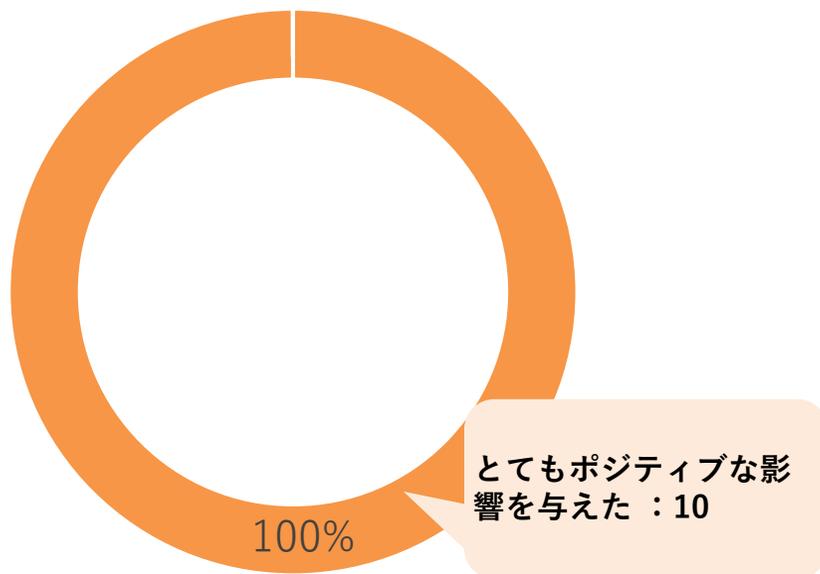


■ とてもポジティブな影響を与える：10 ■ 9 ■ 8 ■ 7 ■ 6 ■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ とてもネガティブな影響を与える：1

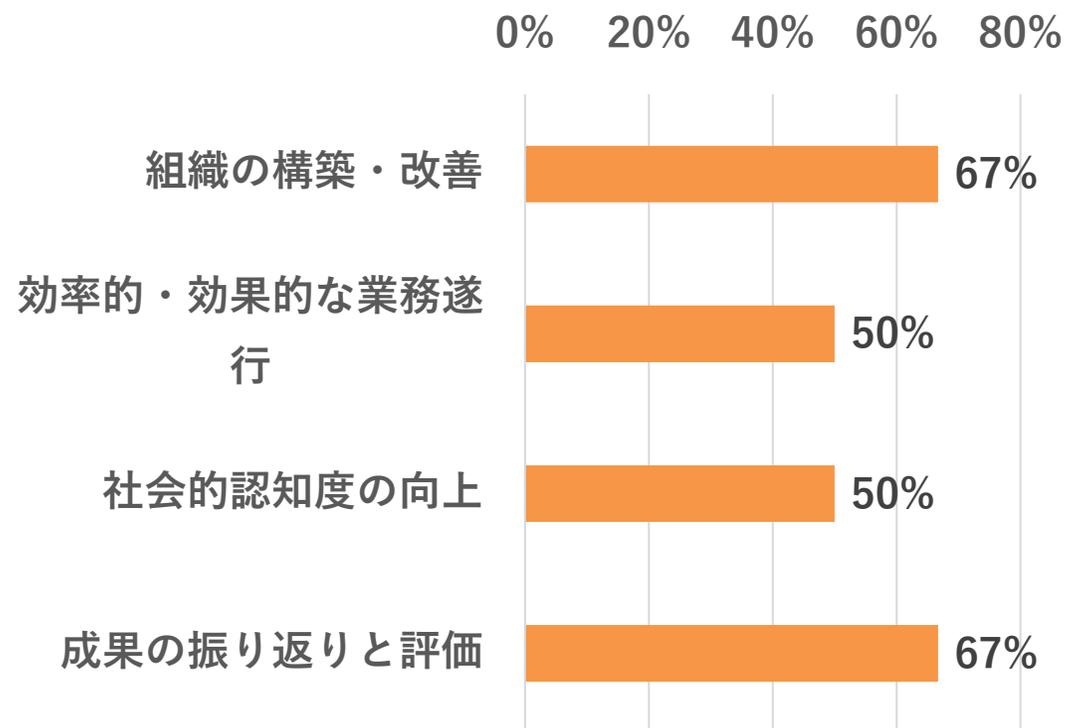
対象：2024年度プログラム参加者  
n=17

## 中期アウトカム：活動の維持・継続・展開（過去参加者へのアンケート結果）

メンタリングプログラムへの参加は、NPOの活動にどのような影響を与えましたか



メンタリングプログラムでの課題解決を通じて、実現したこと選択してください



対象：2022/2023年度  
プログラム参加者 n=6  
(2025年1月実施)



# NPOメンタリング プログラム